

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.5

令和6年7月8日

市川市立第八中学校
校長 川野辺 修

学校評価について

先月学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様におかれましては、お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

これまでは保護者の皆様にも実施しておりましたが、今年は多角的に八中の教育活動を分析するため、生徒と教職員にも同様の質問をしました。

	項目 教職員：働きかけ、生徒：自分自身の実感 保護者：実際の子どもの様子 と読み替え	平均点		
		教職員	生徒	保護者
1	「お互いの良さを認め合う」ような関係づくり	3.5	3.7	3.4
2	自分自身の良さに気づく	3.5	3.3	3.3
3	目標を持って学習したり生活したりする	3.5	3.3	3.2
4	色々なことに興味を持って学習に取り組む	3.7	3.2	3.2
5	個に応じた丁寧な学習指導	3.7	3.4	3.4
6	読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をする	2.9	2.7	2.9
7	毎日の学習でタブレットを活用	3.0	2.9	2.9
8	運動やスポーツに親しむ	2.9	3.3	3.1
9	望ましい食習慣	3.2	3.5	3.3
10	学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる	3.7	2.4	3.4
11	一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制	3.7	3.4	3.3
12	体験活動を取り入れている	3.5	3.4	3.4
13	便りやホームページ等で、学校の様子を伝えている	3.6	3.3	3.4

項目10については、生徒への質問が“地域との具体的な交流活動”と取られかねない表現であったので数値に差が出たと考えられます。教職員・生徒・保護者のいずれも平均点が高い項目は十分な効果が得られていると判断できません。一方で教職員は高いが生徒・保護者が低い項目は、学校としての働きかけ等を見直す必要があり、教職員と生徒は高いが保護者が低い項目は、保護者等への周知の仕方の見直しや学校と家庭とのさらなる連携が必要と考えておりま

す。逆に、教職員が低いが生徒や保護者が高い項目は、学校だけでなくご家庭や地域のお力添えが多分に影響していると考えます。

自由記述につきましては真摯に受け止め、改善すべきところは早急に対応し、見直しが必要なところは前向きに検討してまいります。

なお、本紙での紹介は平均点の比較のみとなっておりますが、データが整い次第、ホームページにおいて市内平均との比較などより細かなデータを掲載いたしますので、そちらもご参照ください。

次回の学校評価アンケートは12月に実施となっております。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

熱中症予防について

近年の温暖化による熱中症の対策として、暑さ指数(WBGT)を参考にし、活動内容の変更や中止の判断を適切に行うようにしております。(6/3 更新のブログでも紹介しましたように、暑さ指数測定器を本校は常備しております。)

暑さ指数31以上(危険)の場合は特別の場合以外は運動を中止。暑さ指数31未満であっても激しい運動は避け、10~20分おきに休憩を取り、水分等を補給。暑さに弱い生徒に対しては、積極的に運動の軽減または中止の判断をする。これらの内容を原則として、職員間で共有しております。

併せて、運動時以外の対策としてジャージや体操服での登下校、帽子の着用や日傘の使用を許可しております。さらに発生時の備えとして、保健室を常時冷やし、経口補水液と保冷剤を常に用意しております。

万が一の事故が起こらないよう徹底してまいります。ご心配な点等がございましたらお問い合わせください。(先日発行した“ほけんだより”もご参照ください。)

生徒会本部とのLM

6月18日(火)に生徒会本部役員の生徒たちと、校長室にて給食の会食(ランチミーティング)を行いました。学校生活についての要望や、生徒会本部としての今後の展望、また日頃の悩みや様子について聴くことができました。あっという間でしたので、「また機会を持ちましょう」とのことです。今回は閉じました。

ぜひ別の機会に、また他の方々とも会食が出来たらと思います。生徒会本部の皆さん、ありがとうございました。

八中のホームページでは日々の様子をブログで紹介しております。
右のQRコードを読み取り、ご覧ください。

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>

